

この経済の根本!

ファイナンス入門 2015.10.28 所得とは何か

① まずはミクロ経済から考えましょう。
収入と所得は違う!

商店経営では、収入は売上に、所得は利益にあたる。こう考えれば、わかりやすいね。

売上 - 費用 = 利益

だから、収入 - 費用 = 所得 となる。(この式は商業以外の全てに当てはまります)

注意! 企業は手取り額で約束しない。収入額で約束する。

所得と言っても、サラリーマンやOLは給与所得ですが、年金所得やタレントさんの所得は雑所得と言う名前になります。他、企業の所得は事業所得、不動産を売って入ったは不動産所得と呼ばれています。

給与収入と給与所得のちがいは

給与収入とは、1年間たつて、会社から社員に渡される、源泉徴収票でいう支払金額に当たります。給与所得とは、給与収入から費用に当たる、給与所得控除を差し引いた金額になります。

これが商店の経営なら、控除は大きいです。

給与所得金額 (給与所得控除後の金額) の算出のしかたは

複数の会社から給与がある場合はすべての給与収入を合計した金額が給与収入金額になります。

給与の収入金額の合計額 (A)			給与所得金額
0 円以上	651,000 円未満		0 円
651,000 円以上	1,619,000 円未満		(A) - 650,000 円
< 略 >			
3,600,000 円以上	6,600,000 円未満		(B) × 80% - 540,000 円
6,600,000 円以上	10,000,000 円未満		(A) × 90% - 1,200,000 円

「所得」って何だったぞ!
ミクロ経済とマクロ経済がわかる、
これっておまの知識!



戦後ADPIは...

10,000,000 円以上	15,000,000 円未満	(A) × 95% - 1,700,000 円
15,000,000 円以上		(A) - 2,450,000 円

平均的なサラリーマンの年収は430万円ほどですから、計算すると、給与所得金額は
4,300,000 円 × 80% - 540,000 円 = 2,900,000 円

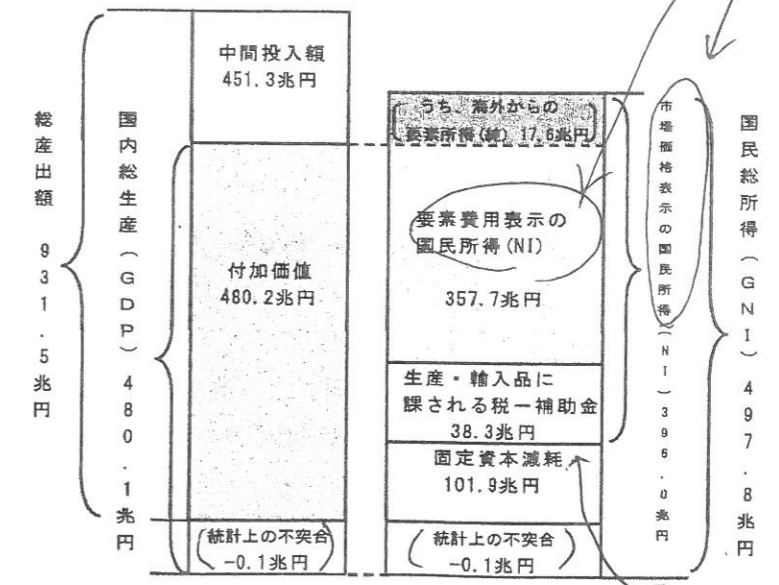
420万円稼いで、290万円。この差額140万円は給与所得控除と言って、サラリーマンにとっての費用(経費)に当たります。

さて、サラリーマンの場合、可処分所得はおおよそ年収の80%です。

② 以上をマクロ経済に適用すると、

日本の国全体では、下の図にあるように、

収入または売上(総産出額) 931.5兆円 - 費用(中間投入額) 451.3兆円
= 所得 480.2兆円 (国内総生産 = GDP)



四大への編入試験によく出ます。

機械などの買いかえ

さらに、GDPの前の年に対する変化率を経済成長率と呼びます。

下のグラフは戦後日本の経済成長率を1枚の図にしたものです。

